

第33回少年の主張大会を開催しました!!

7月2日、いきいき広場ホールにて「第33回少年の主張大会」が盛大に開催されました。

この大会では、市内小中高等学校の代表が発表を行い、約180人の方の来場がありました。

高浜小学校6年 滝口 陽太さん

「障がい者について」

おぼとの関わりから、自分なりの幸せをめざして生きているという点で、障がい者と健常者は同じだということを学びました。障がい者の人の幸せのためにお手伝いできる優しい人が増えてほしいです。

吉浜小学校6年 菅 有希さん

「大切な意見」

ぼくは人と話しをすることに苦手意識があります。将来大人になったときに自分の意見を伝えられるように、今からできることを考えました。自分が描くよい将来にするためにがんばりたいです。

高取小学校6年 奥村 葉七さん

「マナーは何のためにある」

たくさんの張り紙にマナーに関する注意書きが書いてあります。しかしマナーとは決まっているものではなく、自分で考え、みんなが気持ちよく過ごせるよう行動することだと思います。周りの人の気持ちを考えて行動していきたいです。

港小学校6年 鈴木 久遠さん

「ぼくが見せる未来」

昔から教師になることが夢でした。6年生の担任の先生と出会い、その先生のようになりたいと思うようになりました。子どもたちに明るい未来を見せてあげられるような先生になるため努力します。

翼小学校6年 弘田 萌衣さん

「ハンガリーでの経験」

父の仕事の都合でいやいやハンガリーへ行った私。しかしハンガリーでいろいろなことに挑戦した経験が私を大きく成長させてくれました。不安もあるけれどこれからも挑戦を続けたいです。



高浜中学校3年 中村 美香さん

「新聞の切り抜きの三十一文字」

母が大切に持っていた震災についての句が書かれた新聞の切り抜き。その句から多くのことを教えてもらいました。日々の自分をふりかえり、できることから行動していきたいです。

南中学校3年 杉浦 萌奈さん

「笑顔の原点」

笑顔は作るものではなく自然となるもので、それを見ている人の気持ちも明るくすることができるものだと思います。私は多くの笑顔に支えられました。自分も笑顔で人を支えてあげられるような存在になりたいです。

高浜高等学校3年 宮田 琢斗さん

「琢」

「切磋琢磨」。僕の字にも琢が使われており、今まで僕は切磋琢磨し困難を乗り越え成長してきた人生でした。これからも、辛いこと、大変なことはあるかと思いますが、切磋琢磨し伸ばしてきた力を発揮して乗り越えていきたいです。

どの発表も子どもたちの想いであふれており、感動的で、大人も考えさせられる内容でした。発表者だけではなく、田村菜々穂さん(高浜中学校3年)、四本真咲さん(南中学校3年)も、丁寧ではっきりとした、すばらしい司会を務めました。

今回発表された作文は、市公式ホームページにて公開します。ぜひご一読ください。

問合せ先 困文化スポーツグループ ☎ 52-1111 (内線 330)